

# ふじた

特集 女性の一生をサポートする産科・婦人科  
産科・婦人科の気になる  
トピックスを聞き込み！  
先生のご紹介  
Information

F U J I T A H E A L T H U N I V E R S I T Y H O S P I T A L



特集

Obstetrics and Gynecology

## 女性の一生をサポートする産科・婦人科



産婦人科は生命の誕生、幼少期、思春期、性成熟期、更年期、老年期に至るまで、女性の一生に関わる診療科です。不妊症の患者さん、妊娠、出産には産婦人科医師が大きく関わります。それだけではなく、幼少期から思春期にかけて身体の成長に伴う悩みや異常、さらに性成熟期には感染症やがんの問題が加わります。年齢を重ね月経がそろそろ終了する更年期に伴う心身の異常、さらには老年期に起こる身体の変化についても産婦人科医師が関わっていきます。おかしいと思ったらまずは近所の産婦人科クリニックにご相談ください。産婦人科はこのように多岐にわたる疾患、病態を網羅している診療科です。当院ではそれぞれの専門分野のエキスパートが診療にあたっており、周囲の産婦人科クリニックとの連携も円滑に行われています。クリニックではその対処が難しいと思われる疾患の場合には当院の医師を紹介していただければと思いますのでご心配なく。

# 産科・婦人科の 気になるトピックスを聞き込み!



## 1 春より一部保険適用となる不妊治療

夫婦仲良しでもなかなか子宝に恵まれないときがあります。不妊治療にはその原因がわからないことも多々ありますし、その原因は女性だけにあるとは限りません。まずはご夫婦でよく相談しながら、検査を受けることをお勧めします。

不妊治療の一部は今年の春より保険適用の範囲が広がりますので経済的な負担が以前よりは軽くなるものもあります。詳しくは産婦人科医師にご相談ください。

## 2 家族も知って欲しい! 更年期症状とは?

女性ホルモンは主に卵巣から分泌されます。卵巣は思春期から活動を本格的に開始し、20歳、30歳台と女性ホルモンを盛んに分泌します。40歳を超えるころからだんだんと卵巣の活動が低下することにより女性ホルモンの分泌能が低下してきます。この変化が更年期症状として現れます。具体

的には身体のほてり、イライラ感、化粧のお肌へのノリが悪くなるなどの症状が出てきたら要注意です。身体に起こる変化として月経周期の乱れが起こり、やがて月経が来なくなる、いわゆる閉経状態となります。更年期症状は閉経前後のおよそ10年間に起きる様々な心身症状を指します。

後悔したくないから予防・検診をしよう!



## 3 子宮頸がん予防ワクチンでリスク軽減

子宮頸がんは主としてヒトパピローマウイルスの感染によって引き起こされるがんです。このウイルス感染は主に性交渉により起こるとされるので、性交渉が始まる前の女性に接種するのが感染予防に重要といわれています。日本では2013年に定期接種となりましたが、その後、諸問題が発生し積

極的な接種勧奨の差し控えという事態となりました。しかしながら、ようやく今年の春より接種勧奨再開が決まっています。私はワクチン接種により一人でも多くの女性が将来の子宮頸がんとならないように願っています。

## 4 子宮頸がん検診を忘れずに!

アメリカ、イギリス、オーストラリアなどの先進諸国では子宮頸がんの患者さんの数は減少しています。一方、日本ではその数は減少していません。先進国では検診の仕組みが社会でうまく機能しているのですが、日本ではあまり機能していないのがその原因ではないかと言われています。検診によりがんの前、すなわち前がん状態で見つければ、早期治療により完治が可能です。一方、最近では30歳台での子宮頸がんの患者さんを多くみかけるようになりました。子宮頸がんは発見が遅れると子宮を摘出しなければ救命できないことも

あり、そのような場合、子供を産めなくなります。さらに進行した状況では一生懸命治療しても救命できないこともあります。検診により救える命があります。皆さんがスポーツクラブで身体を鍛えて健康に気を付けているように、検診を受けて自分の身体の異常に気を配ってほしいと思います。検診は身体の異常があっても受けるものではありません。何も症状のない状態で受けるのが正しい検診の受け方です。万が一何らかの症状がある場合には産婦人科クリニックを受診してほしいものです。

3月23日(水)~配信!



低用量ピルや性教育、悪性腫瘍の  
ロボット支援手術などをお話しています!

### 院内ラジオ「フジタイム」第56回で配信!

産科・婦人科 藤井 多久磨 教授がご出演中!  
広報誌では紹介しきれなかった気になる内容や先生の裏話を院内ラジオ「フジタイム」のYouTubeで配信しています。是非、お聞きください!

フジタイム  
FUJI TIME



院内ラジオ フジタイム で検索!



産科・婦人科 教授 藤井 多久磨 先生

# 先生の ご紹介



産科・婦人科 教授

**藤井 多久磨** 先生

略歴

1981年、慶應義塾大学医学部入学、大学時代はヨット部に所属、全日本470選手権2回出場、東日本医学部学生体育大会団体4度優勝。1987年、慶應義塾大学医学部卒業 産婦人科助手。1991年、国立がんセンター研究所分子腫瘍学部リサーチレジデントとしてパピローマウイルスの研究に従事。1996年、米国イェール大学腫瘍内科リサーチアソシエイトとしてパピローマウイルスの研究に従事。2005年、慶應義塾大学医学部産婦人科学講師。2013年、藤田保健衛生大学（現 藤田医科大学）医学部産婦人科学講座教授。専門は子宮頸癌の診療。

## 患者さんにひとこと

message

子宮頸がんおよびその前がん病変を私は30年間専門としています。検診にて異常を指摘されたならば、是非我々のところに相談に来てください。治療は病気の状態に応じ、様々な方法がありますので、最適な方法を提案していきたいと思えます。

## 先生の趣味を教えてください

hobby

大学卒業後は週1回ジムでトレーニングする程度でしたが、49歳にして北アルプス、穂高岳に登頂し登山に若干目覚めました。近いうちにエベレストに行ってみようと思っています。大学の産婦人科医局はビル9階にありますので、地下1階より毎日階段を登り足腰を鍛えています。この階段を1年間毎日1回登るだけでも13824mを登った計算になります（エベレストは海拔8848m）。



藤井先生

白馬岳登山！



カルテ回診の様子



手術の様子



産科・婦人科 准教授

**西尾 永司** 先生

略歴

1997年藤田保健衛生大学医学部卒業（現 藤田医科大学）、医学博士。藤田保健衛生大学病院（現 藤田医科大学病院）、新城市民病院、トヨタ記念病院で臨床、研究を行う。日本産科婦人科学会専門医、指導医。母体保護法指定医。日本東洋医学会漢方専門医、日本東洋医学会漢方指導医。日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医。日本生殖医学会生殖医療専門医。日本女性医学学会ヘルスケア専門医、指導医。

## 患者さんにひとこと

message

父親が産婦人科医だった影響で産婦人科を専攻しました。全ての患者さんが少しでも良くなっていただけることに喜びを感じます。産婦人科へ受診することへのためらいは大きいと思いますが思い切って診察室の扉を開くことで改善することは多いと信じております。患者さんが本当に困っていることに共感し最善の治療と情報提供することを常に心がけています。

## 先生の趣味を教えてください

hobby

あまり強くないですが友人と居酒屋でハイボールを飲むことや娘とお買い物に行く時に幸せを感じます。安価な絵画を収集しております。現代アートより印象派推しです。



西尾先生

画家 小森隼人さんと



医学部の学生さんと



西尾先生

日本画家 楚里勇己さんと



## 5月5日 (こどもの日) の診療について



ゴールデンウィーク最終日の5月5日(こどもの日)は祝日となりますが、当院では「**休日開院日(通常診療)**」とすることといたします。

### 5月 診療のご案内

5月3日 (火) 憲法記念日	5月4日 (水) みどりの日	5月5日 (木) こどもの日	5月6日 (金)	5月7日 (土)
休診	休診	通常診療	通常診療	通常診療



## 食材 真鯛

### 体に必要なEPAとDHA

n-3系脂肪酸のDHA、EPAは、体内で合成できないため食事から摂取する必要があります。DHAは学習力や記憶力に深く関わりのある海馬という器官に多く存在します。また、EPAは血流を良くする大切な成分です。

真鯛はこれらの脂質が比較的多く含まれますが、高温で酸化されやすいため、刺身やサラダなど生で食べることをお勧めします。春と秋に旬があり、春は産卵前に桜色になることから桜鯛と呼ばれます。



食養部が提案する！

### 真鯛の中華風サラダ

#### 材料 【2人分】

- 真鯛(刺身用) ……160g
- レタス ……50g
- にんじん ……20g
- 水菜 ……30g
- ショウガ ……2g
- 小ネギ ……2g
- ポン酢 ……20g
- オイスターソース ……10g
- ごま油 ……5g

A

#### おおよその栄養価 (1人分)

エネルギー	147 kcal	塩分	1.5 g
たんぱく質	17.9 g	EPA	240 mg
脂質	7.2 g	DHA	488 mg

作り方

- ① レタス、人参、しょうがは千切りにし、水菜は5cm幅にカット、小ねぎは小口切りにする。野菜の水気はよく切っておく。
- ② 真鯛は2~3mmの厚さにそぎ切りにする。(刺身をそのまま使用しても良い)
- ③ Aを混ぜ合わせてタレを作る。
- ④ 1、2を皿に盛り付ける。
- ⑤ 食べる直前に3のタレをかける。

食養部：管理栄養士 高本純平、調理師 伊藤俊哉